

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37304	介護概論 Care for the Elder & Handicapped	梶原稚子		専門	2	選択	1. 2年前期

科目の概要

介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを学び、介護・福祉サービスを提供するにあつたての基本的な視点等を習得することによって、介護の講義の土台になるようにします。特に、介護職に求められる専門性・職業倫理については理解を深められるようにします。
目標とする介護資格取得の専門的知識・技能（感染・事故防止）を習得していきます。

学修内容	到達目標
① 利用者の尊厳のある暮らしを支える介護者の役割について学ぶ。 ② 介護職の専門性、職業倫理について学ぶ。 ③ 介護におけるリスク・対策について学ぶ。 ④ 自立支援・介護予防について学ぶ。	① 介護職の役割について考察することができる。 ② 介護職の専門性・職業倫理を述べることができる。 ③ 介護におけるリスク・対策を述べるすることができる。 ④ 自立支援・介護予防を述べるすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	シラバスを活用し、講義内容を予習・復習し、自発的に事後学習ノートを作成する。 グループワーク、演習、発表は潤滑に実施できるように事前準備、課題を行って参加する。
	働きかけ力	グループワーク、演習、発表を毎回実施しますので、効果的に実施できるようにメンバーと協力し、リーダーシップを発揮する。
	実行力	一度やり始めたことは、最後までやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループワーク、演習、発表を毎回実施するので、予習復習の計画、段取りを考え実施できる。（バイトが忙しいのでできないのは受け付けません。）
	創造力	講義内容、テキスト、グループワークなどを用いて、従来の考え方に加え、様々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表し、分りやすく発表することができる。
	傾聴力	グループワーク中、メンバーの意見を聴く時、あいづちやうなづきなどの姿勢を取る。場合によっては質問して相手の意見を引き出す努力をする。
	柔軟性	グループワーク、演習が多いので、課題に対し、自分の意見ばかりを主張するのではなく、相手の意見や立場を尊重する。
	状況把握力	グループワークや演習が多いので、課題達成のため、メンバー全員が楽しく参加できるように、自己の役割を考え行動する。
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	うまく進まない場合、原因を明確にし、課題解決の方法を考える。助言が必要な場合は、誰に何を相談すれば良いのかを考え行動する。

テキスト及び参考文献

テキスト：一般社団法人 長寿社会開発センター 第1巻「人間と社会」
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：介護初任者研修科目
資格との関連：介護初任者研修資格

学修上の助言	受講生とのルール
・毎回、シラバスで講義内容、課題の提出は確認すること ・基本的な用語は暗記すること覚えることが多いので、予習・復習で自己学習ノートを作成すること。一夜漬けは無理です。	・講義は1日で2回ずつ実施するので注意すること。 ・介護職員初任者の資格取得には、評価が「良」以上あること。 ・講義中の私語、居眠りは慎むこと ・欠席した分のレポートは、シラバスで講義内容を確認して作成、資格取る方は事務局への提出しないと講義認定認められません。 ・講義中の写真撮影は禁止、講義内容はSNSにあげないこと ・課題の提出は講義前であり、講義開始後は受け取らない ・最終回の介護観のレポートを準備してこない学生は欠席扱いです。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓		筆記試験（講義終了後）は4択もしくは5択問題を出題する。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
	平常評価	小テスト	20	①	✓		小テストを2回実施する。 ・専門用語の意味を記述する。 ・10問ずつ実施する。 ・事前にテスト内容は伝えるが、テキストの持ち込みは禁止。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
		レポート	20	①	✓		レポートは3回実施する。 1回目：高齢者体験を行い学んだこと（300字前後、5点） 2回目：事故事例を用いて、原因・分析・対策をグループワークして学んだこと（400字前後、5点） 3回目：介護観（1200字前後、15点） 評価の基準 ・課題を適切に捉えて意見を述べているか（3点） ・テキストを活用しているか（1点） ・文字数、誤字はないか（1点） ＊3回目は各項目を4倍で（12点、4点、4点）で評価する。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①	✓		・高齢者体験の発表、意見交換（2点） ・事故事例のグループワークの発表、意交換（2点） ・感染予防の演習の反省会の発表、意見交換（2点） ・介護観の発表と意見交換（2点） ＊グループワークや演習の欠席をした方と課題をやってきていない方は、自己学習で補って参加する場合は評価対象です。自己学習していない方は、内容がついていけませんので、講義時間は認めても、評価点が見つからないことがあります。例年やってこないことを主張されても、どうにもなりません。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		(主体性) ・技能習得のための予習ができる。 (実行力) ・課題提出のために目標に向かって進めることができる。 (課題発見力) ・到達目標のために自分なりに課題を考えて学修することができる。 (創造力) ・固定概念にとらわれず、新しい発想のもとに課題に取り組むことができる。 (発信力) ・発表の仕方を工夫してわかりやすく発表できる。 (傾聴力) ・大事な事はメモをとりながら、しっかり聞くことができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(A) 介護職に求められる基礎用語が正確に暗記できる。 (A) 介護における安全技術が知識を元に実践できる。 (A) 職業倫理、専門性についてテキストやグループワークを通してリーダーシップを発揮、自分の意見を述べ、他者の意見を傾聴し、自ら考えを発展できる。 (B) 介護職に求められる基礎用語が8割程度に暗記できる。 (B) 介護における安全技術が知識を元に助言を受ければ実践できる。 (B) 職業倫理、専門性についてテキストや他者の意見を傾聴しながら、自ら自己の考えを発展できる。	(C) 介護職に求められる基礎用語が4割程度正確に暗記でき、テキストでの確認が必要である。 (C) 介護における安全技術が事前練習しないで参加しているので、知識の質問に答えられない。かろうじて実践できる。 (C) 職業倫理、専門性についてテキストで事前学習してこない、グループワークで一言しか発言しない。発表や質問は促さないと行わない。 (D) 介護職に求められる基礎用語が1～2割しか正確に暗記していない。または小テストを受けない。 (D) 介護における安全技術が知識ともに助言しても、実践できない。または演習を欠席する。 (D) 職業倫理、専門性についてテキストを読んでこない、やることを理解しようとする姿勢がみられない。グループワークでは促さないと発言しない。欠席しグループワークを実施し。発表準備をしてこない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・科目「介護概論」がどのような学習内容か把握し、今後の介護の科目に生かす心構えを学びます。	講義	・介護概論は何を学修するのかを述べることができる。 ・介護のイメージを言語化できる。	(復習) ・テキスト p.1～32 (予習) ・テキスト p.33～44 介護概論は何を学修するか、また介護のイメージを述べることができるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	・介護の職務、介護保険のしくみを学びます。	講義	・介護を取り巻く現状を説明できる。 ・介護職員初任者研修課程との関連が比較できる。 ・介護保険の基本的な流れが説明できる。	1週目同様	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	・人権と尊厳の保持について学びます。	高齢者体験のレポート提出 講義 前回テキストが間に合っていない場合は復習	・個人の尊厳と自立・自律について記述できる。 ・尊厳を法律で定められている内容を権利を述べることができる。	(予習) ・テキスト p.45～60 (復習) ・テキスト p.33～44	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	・高齢者体験モデルの気づきをもとに高齢者の身体・精神・社会的特徴を述べるができる。 *演習できるように、スカート、ヒールはひかえて下さい。	演習（高齢者体験） 発表（2点）	・高齢者体験の気づきを発表できる。 ・クラスの学びを知り、高齢者の身体・精神・社会的特徴を記述できる。	3週目目同様。 ・高齢者体験モデルの学びを次回講義前に提出（5点分）	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	・アドボガシー、エンパワーメント、ICF、QOL、ノーマライゼーションについて学びます。	講義	・アドボガシー、エンパワーメント、ICF、QOL、ノーマライゼーションの意味が記述できる。	(予習) ・テキスト p.61～95 (復習) ・テキスト p.45～60	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
6	・虐待防止、身体拘束の禁止、個人の権利を守る制度について学びます。	講義 事例検討	・虐待の実態から、原因や対策が説明できる。 ・身体拘束の禁止の意義、リスクが説明できる。 ・個人の権利を守る制度が説明できる。	5週目同様	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
7	・介護の基本と地域包括システムについて学びます。	講義	・自立支援、介護予防の重要性が説明できる。 ・地域包括システムとは何かを記述できる。	(予習) ・テキスト p.101～133 (復習) ・テキスト p.61～95 ・小テスト	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
8	・介護職の役割、専門性と他職種との連携について学びます。	講義 第1～8回目までの講義の復習	・介護の役割、他職種との連携の重要性が説明できる。 ・倫理の重要性が説明できる。	7週目同様	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・第1～8回までの知識の確認をします。 ・介護の職業倫理の重要性を学びます。	小テスト（10点） 講義 事例検討	・介護の倫理、介護職としての社会的責任、プライバシーの保護・尊重について説明ができる。	(復習) ・テキストp. 101～146 (予習) ・テキストp. 134～146	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	・介護における安全確保とリスクマネジメントについて学びます。	講義 事例検討 小テストのフィードバック	・起きやすい事故の原因、対策が説明できる。 ・リスクマネジメント、事故報告書を事例を通して説明できる。	9週同様	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	・感染対策（手洗い、手袋の着脱、マスク、エプロン、隔離）の知識を学びます。	講義	・根拠と注意事項を暗記しながら、手技を覚える。	(復習) ・テキストp. 134～146 (予習) ・テキストp. 148～161	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	・事例を通して、事故の原因、対策、事後報告書の記入ができるように演習します。	グループワーク・発表（レポート5点、発表と質疑2点） 第9回目から第12回目までの復習	・事故の原因、対策を導くことができる。 ・グループワークの内容を他者に分かるように発表できる。 ・復習内容が想起できる。	11週同様 (次回) ・グループワーク発表を聴いた学びを次回講義前に提出 ・小テスト ・演習がその場で実践できるように復習←演習何も学習してきていない場合は欠席です。		主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	・第9～12回までの知識の確認をします。 ・介護職の心身の健康管理について学び、自己のストレスの対処方法を考えます。	小テスト（10点） 講義	・介護職の心身の健康障害、ストレスを説明できる。 ・自己のストレスの傾向を見つめ、対処方法を考える。	(次回課題提出) ・介護観レポートやっ てこない場合は欠席です。 (復習) ・テキストp. 148～161	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・感染対策（手洗い、手袋の着脱、マスクの着脱、ガウンテクニック）の技能の習得を目指します。	演習 演習後の反省会（2点） 小テストのフィードバック	・感染対策（手洗い、手袋の着脱、マスクの着脱、ガウンテクニック）の技能が習得できる。	13週同様	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	・「介護概論」を通して学んできたことを再構築します。	発表（3点）、意見交換2点）	・14回までの講義を振り返り、文献を用いてレポートし、分かりやすく発表する。	(次の時間) 筆記試験（40点） 介護観レポート提出（10点）ですべてのレポートの受け取り終了。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力